

プログラム

開会式

8:40 ~ 8:50

阿部 竜也 (第3回脳腫瘍支持療法研究学術集会 会長/
佐賀大学医学部脳神経外科 教授)

特別講演①

8:50 ~ 9:30

座長：荒川 芳輝 (京都大学医学部 脳神経外科)

阿部 竜也 (佐賀大学医学部 脳神経外科)

コメンテーター：橋本 直哉 (京都府立医科大学 脳神経外科学)

「東洋の智慧を活かす — 個に寄り添う医療の実践のために —」

早崎 知幸^{1,2,3)}

¹⁾ 曹洞宗 道虎山 静元寺 (じょうげんじ) 住職

²⁾ 慶友会 吉田病院 漢方外来 非常勤医師

³⁾ 日本保健医療大学 客員准教授

特別講演②

9:30 ~ 10:00

座長：廣瀬 雄一 (藤田医科大学医学部 脳神経外科)

田村 郁 (東京科学大学 脳神経外科)

「マサチューセッツ総合病院における中枢神経腫瘍患者に対する多専門的アプローチ」

脇本 浩明

マサチューセッツ総合病院 脳神経外科

シンポジウム① 「QOL向上を目指した取り組み①」

10:00 ~ 10:50

座長：園田 順彦 (山形大学医学部 脳神経外科)

溝脇 尚志 (京都大学 放射線治療科)

S1-1 おかやまグリオーマサポートセンターにおけるグリオーマ患者の包括的ケア

田中 将太¹⁾、足立 吉陽²⁾、石田 穰治¹⁾、大谷 理浩¹⁾、平野秀一郎¹⁾、為佐 信雄²⁾、
伊達 勲²⁾

¹⁾ 岡山大学病院 脳神経外科

²⁾ 岡山ろうさい病院 脳神経外科・脳卒中科

S1-2 脳腫瘍支持療法における脳神経疾患に特化した訪問診療の実際

西山 淳^{1,2,3,4)}、尾崎 聡²⁾、堀江 修³⁾、高橋 雅道⁴⁾

¹⁾ 医療法人社団 NALU トータルケアガーデン湘南海老名クリニック

²⁾ 医療法人社団 NALU えびな脳神経クリニック

³⁾ 医療法人社団杏月会 伊勢原駅前クリニック

⁴⁾ 東海大学医学部 外科学系 脳神経外科学領域

S1-3 膠芽腫治療における高次脳機能評価

三宅 啓介、林 聖矢、多々納幹貴、菅田 峻光、鈴木 健太、藤森 健司、小川 大輔
香川大学医学部 脳神経外科

S1-4 悪性脳腫瘍患者が質の高い最期 (Quality of death) を迎えるための質の高い療養生活 (Quality of life)

副田 明男¹⁾、川口奈保美²⁾、辻 若子²⁾、渡邊 知伽³⁾、可見 朋香³⁾、玉村 笑子³⁾、
木戸地希世美³⁾、齊藤 裕樹⁴⁾、高見 洸輝⁵⁾、大野 香⁵⁾、高柳 麻衣⁶⁾

¹⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 脳神経外科

²⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 薬剤部

³⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 看護部

⁴⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 医療連携課

⁵⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 リハビリテーション科

⁶⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 栄養管理室

S1-5 KPS60 以下の初発膠芽腫患者の検討

柳澤 俊介、大野 誠、河内 大輔、大村 鷹希、青木 拓磨、山本 哲也、藤井 源太、
齋藤 孝司、成田 善孝

国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科

シンポジウム② 「QOL向上を目指した取り組み②」

10:50 ~ 11:50

座長：武笠 晃丈（熊本大学医学部附属病院 脳神経外科）

篠山 隆司（神戸大学大学院医学研究科 脳神経外科学分野）

S2-1 回復期リハビリテーション病院における脳腫瘍患者に対する就労支援の現状と課題

出口 誠¹⁾、松谷 雅生²⁾、坂本 裕彦¹⁾、佐藤 章¹⁾、伊藤 正一¹⁾、齋藤 恵¹⁾、
塘地 正美¹⁾、黒木 紘子¹⁾、西田 明子¹⁾、大内 摩耶¹⁾

¹⁾ 五反田リハビリテーション病院

²⁾ 原宿リハビリテーション病院

S2-2 術前の神経膠腫患者における疲労は生活関連動作の活動頻度と QOL に関連する

重松 謙太¹⁾、田中かなで¹⁾、馬場 千夏¹⁾、山脇 理恵¹⁾、堀川陽一郎¹⁾、池口 良輔²⁾、
荒川 芳輝³⁾

¹⁾ 京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部

²⁾ 京都大学医学部附属病院 リハビリテーション科

³⁾ 京都大学大学院医学研究科 脳神経外科学

S2-3 悪性神経膠腫患者のQOLの変化について

甲谷 滉康¹⁾、村岡 法彦¹⁾、渡邊 安紀¹⁾、八木橋史佳¹⁾、呂 隆徳¹⁾、木下 学²⁾、
大田 哲生³⁾

¹⁾ 旭川医科大学病院 リハビリテーション部

²⁾ 旭川医科大学 脳神経外科学講座

³⁾ 旭川医科大学病院 リハビリテーション科

S2-4 WHO grade 2, 3 グリオーマにおける社会適応能力の特徴とQOLへの影響

中嶋 理帆¹⁾、木下 雅史²⁾、沖田 浩一³⁾、中田 光俊²⁾

¹⁾ 金沢大学リハビリテーション科学領域

²⁾ 金沢大学 脳神経外科

³⁾ 金沢大学附属病院 リハビリテーション部

S2-5 脳腫瘍患者へのEORTC QLQ-C30 評価の考察

松谷 雅生¹⁾、浦江 奏子²⁾、冨澤 春香²⁾、出口 誠³⁾

¹⁾ 原宿リハビリテーション病院 診療部リハビリテーション科

²⁾ 原宿リハビリテーション病院 医療技術部リハビリテーション科

³⁾ 五反田リハビリテーション病院 診療部リハビリテーション科

S2-6 高齢膠芽腫における治療継続性の確保：KPS維持の重要性と合併症の影響

藤岡 寛、尾辻 亮介、波多江龍亮、空閑 太亮、吉本 幸司

九州大学大学院医学研究院 脳神経外科

ランチョンセミナー

12:00 ~ 13:00

座長：佐々木 光（東京歯科大学市川総合病院 脳神経外科）

膠芽腫治療の進化：オブチューン治療の最前線

黒田順一郎

熊本大学大学院 生命科学研究部 脳神経外科学分野

患者同士の支え合いの場『オブチューン患者家族の集い』の取り組み

内重真由美

熊本大学病院 がん相談支援センター 緩和ケアチーム メディカルソーシャルワーカー

共催：ノボキア株式会社

シンポジウム③ 「告知とサポート」

13:05 ~ 13:50

座長：黒住 和彦（浜松医科大学 脳神経外科）

吉本 幸司（九州大学大学院医学研究院 脳神経外科）

S3-1 脳腫瘍患者および介護者が抱える課題とニーズの世代間差

野村 恵子¹⁾、田島玄太郎¹⁾、ガテリエ ローリン¹⁾、荒川 芳輝²⁾、成田 善孝³⁾

¹⁾ NPO 法人脳腫瘍ネットワーク

²⁾ 京都大学医学部附属病院 脳神経外科

³⁾ 国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科

S3-2 悪性脳腫瘍に対する告知と精神的サポートの実際 - 段階的支援と現場の工夫 -

音琴 哲也、吉武 秀展、坂田 清彦、中村 英夫、森岡 基浩

久留米大学医学部 脳神経外科

S3-3 多職種連携を駆使した脳腫瘍治療における増収法

- 神奈川県立がんセンターの取り組み -

佐藤 秀光¹⁾、船津屋来紗¹⁾、宮田 裕也¹⁾、鮎澤 奈美²⁾、緒方 文子³⁾、宮川有美子³⁾、
山口 里枝⁴⁾、遠原まりえ⁵⁾、須藤奈津子⁵⁾、堀越 美保⁶⁾

¹⁾ 神奈川県立がんセンター 脳神経外科

²⁾ 神奈川県立がんセンター 患者支援部看護師

³⁾ 神奈川県立がんセンター 患者支援部ソーシャルワーカー

⁴⁾ 神奈川県立がんセンター 入退院センター

⁵⁾ 神奈川県立がんセンター リハビリテーション技術科

⁶⁾ 神奈川県立がんセンター がん病棟科長

S3-4 当院における脳腫瘍終末期患者の実態と今後の課題

鈴木まりお¹⁾、清水勇三郎¹⁾、村越 美穂³⁾、長山 智子²⁾、児玉 琢磨¹⁾、宮原 怜¹⁾、
秋山 理¹⁾、近藤 聡英¹⁾

¹⁾ 順天堂大学 脳神経外科

²⁾ 順天堂大学医学部附属順天堂医院 看護部

³⁾ 順天堂大学医学部附属順天堂医院 医療福祉相談室

S3-5 緩和ケア病棟を活用した膠芽腫終末期医療の実際

鎌田 一晃¹⁾、岡本 貴成¹⁾、谷山 市太¹⁾、武内 勇人²⁾、山中 巧¹⁾、高橋 義信¹⁾、
上野 直人³⁾、天谷 文昌³⁾、橋本 直哉¹⁾

¹⁾ 京都府立医科大学附属病院 脳神経外科学教室

²⁾ 京都第二赤十字病院 脳神経外科

³⁾ 京都府立医科大学附属病院 麻酔科学教室

スポンサーセミナー

13:50～14:20

座長：成田 善孝（国立がん研究センター 中央病院 脳脊髄腫瘍科）

「脳腫瘍と向き合う～QOL向上を目指したAdvance Care Planning (ACP)」

札幌 博貴

大分大学医学部 脳神経外科学講座

共催：小野薬品工業株式会社

教育講演

14:20～14:50

座長：山田 深（杏林大学医学部 リハビリテーション医学教室）

「脳腫瘍患者の就労支援ーリハビリテーション医療の観点から」

佐伯 覚

産業医科大学医学部 リハビリテーション医学講座

シンポジウム④ 「メディカルスタッフの立場から」

14:50～15:35

座長：百田 武司（日本赤十字広島看護大学 看護学部）

永根 基雄（杏林大学医学部 脳神経外科学）

S4-1 悪性脳腫瘍患者の介護者の精神的健康状態と関連因子

櫻田 香¹⁾、佐藤 伊織²⁾、池田 真理²⁾、成田 善孝³⁾¹⁾ 山形大学医学部 看護学科²⁾ 東京大学健康科学・看護学専攻 家族看護学分野³⁾ 国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科

S4-2 脳腫瘍患者に対するリハビリテーション看護の習得を目指す看護教育プログラム試案の作成

徳永 瑠奈^{1,2)}、林 直子²⁾¹⁾ 上智大学総合人間科学部 看護学科²⁾ 聖路加国際大学 看護学研究科

S4-3 脳腫瘍患者および介護者の Advance Care Planning に対する態度とその背景：全国調査における自由記述の二次分析

近田 藍¹⁾、荒川 芳輝²⁾、竹之内沙弥香³⁾、成田 善孝⁴⁾¹⁾ 岡山大学学術研究院 保健学域²⁾ 京都大学大学院医学研究科 脳神経外科学³⁾ 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻⁴⁾ 国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科

S4-4 悪性脳腫瘍患者に対する ACP アプローチ構築に向けた現状把握と啓発リーフレット作成の試み

清水 一秀、田村 郁、前原 健寿
東京科学大学 脳神経外科

S4-5 間脳腫瘍患者における能力の自己認識

—本人・家族の Patient Competency Rating Scale (PCRS) を用いた検討—

田畑 阿美¹⁾、上田 敬太^{2,3)}、梅田 雄嗣⁴⁾、植野 司^{3,5)}、駒木 美紗¹⁾、
丹治 正大⁶⁾、峰晴 陽平⁶⁾、荒川 芳輝⁶⁾

¹⁾ 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻

²⁾ 京都光華女子大学健康科学部 医療福祉学科言語聴覚専攻

³⁾ 京都大学大学院医学研究科 精神医学

⁴⁾ 京都大学大学院医学研究科 小児科学

⁵⁾ 京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター

⁶⁾ 京都大学大学院医学研究科 脳神経外科学

シンポジウム⑤ 「サポート体制構築と今後の展望」

15:35 ~ 16:20

座長：田中 将太（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 脳神経外科学）
山崎 文之（広島大学病院 脳神経外科）

S5-1 同じ悩みを抱える仲間との交流を通して

織田 陸美¹⁾、宮本 菖¹⁾、服部 知子¹⁾、森川 雅史²⁾

¹⁾ 兵庫県立がんセンター 看護部5階東病棟

²⁾ 兵庫県立がんセンター 脳神経外科

S5-2 原発性脳腫瘍患者の抑うつと関連する要因—スコーピングレビュー

駒木 美紗、吉村 鏡花、原 祥子、川島 悠香、草野 佑介、田畑 阿美
京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻

S5-3 トータルケアチャートを活用した看護計画 ～回復期の看護に着目して～

早川みどり¹⁾、宇納 条利¹⁾、中濱 怜奈¹⁾、山下 結梨¹⁾、塚本奈津美¹⁾、

芦原 春香¹⁾、伊藤紗矢花¹⁾、藤井 晃子²⁾

¹⁾ 名古屋大学医学部附属病院 7E病棟

²⁾ 名古屋大学医学部附属病院 看護部

S5-4 慢性期病院の緩和ケア病棟における悪性脳腫瘍患者の実態調査

清川 樹里^{1,2)}、原 絵津子¹⁾、蓮江健一郎¹⁾、鈴木 龍太¹⁾

¹⁾ 鶴巻温泉病院 緩和ケア科

²⁾ 帝京大学 医学部 脳神経外科

S5-5 小児・若年悪性脳腫瘍患者がドナーとなった脳死下臓器移植の経験

大岡 史治、出口 彰一、芝 良樹、齋藤 竜太

名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科

ポスター発表① 「患者・家族の悩み・ニーズ」

16:20 ~ 16:55

座長：櫻田 香（山形大学医学部 看護学科 基礎看護学講座）

P1-1 がん相談支援センターに寄せられた相談内容から考える脳腫瘍患者・家族への適切な支援

緒方 文子¹⁾、宮川有美子¹⁾、本宮 渚月¹⁾、鮎澤 奈美²⁾、松尾 里香²⁾、成川 明子²⁾、
齋藤 桂子²⁾、蓼沼 朝子²⁾、横島 朋子²⁾、村田 美梨²⁾、佐藤 秀光³⁾

¹⁾ 神奈川県立がんセンター患者支援部 ソーシャルワーカー

²⁾ 神奈川県立がんセンター患者支援部 看護師

³⁾ 神奈川県立がんセンター 脳神経外科

P1-2 発語困難のある患者の思いをチームで支えるースマートフォンを介した情報共有ー

木戸地希世美¹⁾、大澤 章乃¹⁾、可児 朋香¹⁾、玉村 笑子¹⁾、渡邊 知伽¹⁾、加川 明里¹⁾、
後藤 紗希¹⁾、柴田かおり¹⁾、坂本 裕子¹⁾、副田 明男²⁾、澤井 美穂¹⁾

¹⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 看護部

²⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 脳神経外科

P1-3 当院における脳腫瘍患者支援の現状と MSW の役割

黒木 秀実¹⁾、藤 洋介¹⁾、松尾 義孝²⁾

¹⁾ 香椎丘リハビリテーション病院 地域医療連携室

²⁾ 香椎丘リハビリテーション病院 診療部

P1-4 特定機能病院における脳腫瘍患者の意思決定支援を支えたチームアプローチ

佐藤 匠¹⁾、松野真知子²⁾、竹田 千晴²⁾、大野 志歩²⁾、川谷美智子²⁾、帆足 友希³⁾、
兒玉 吏弘³⁾、札幌 博貴⁴⁾

¹⁾ 大分大学医学部附属病院 総合患者支援センター

²⁾ 大分大学医学部附属病院 看護部

³⁾ 大分大学医学部附属病院 リハビリテーション部

⁴⁾ 大分大学医学部 脳神経外科学講座

P1-5 脳腫瘍患者の苦悩

中里和花子¹⁾、徳永 瑠奈²⁾、安東 彩乃³⁾

¹⁾ 防衛医科大学校病院 看護部

²⁾ 上智大学総合人間科学部 看護学科

³⁾ 上智大学多文化共生社会研究所

ポスター発表② 「ACP」

16:20 ~ 16:55

座長：近田 藍（岡山大学学術研究院 保健学域看護学分野）

P2-1 ”いまこの瞬間”に向き合う ACP ～退形成性髄膜腫患者の意思決定支援のプロセスから～

早川未紗子¹⁾、齊藤 太樹²⁾、松田留美子¹⁾、西野 由美¹⁾、佐々木真由美²⁾、
青山 景¹⁾、増田みのり¹⁾、佐々木 光³⁾

- ¹⁾ 東京歯科大学市川総合病院 看護部
- ²⁾ 東京歯科大学市川総合病院 患者支援センター
- ³⁾ 東京歯科大学市川総合病院 脳神経外科

P2-2 悪性脳腫瘍患者に対するがん研有明病院での advance care planning (ACP) における多職種共同参画の取り組み

白鳥 真衣¹⁾、井手 彩華¹⁾、佐藤友貴絵²⁾、小田桐 萌²⁾、馬城はるか³⁾、飯倉 佑介⁴⁾、
伊丹優貴子⁵⁾、大村 朋子⁶⁾、下倉 美穂¹⁾、宮北 康二⁶⁾

- ¹⁾ がん研究会有明病院 看護部
- ²⁾ がん研究会有明病院 医療連携部
- ³⁾ がん研究会有明病院 リハビリテーション部
- ⁴⁾ がん研究会有明病院 薬剤部
- ⁵⁾ がん研究会有明病院 栄養管理部
- ⁶⁾ がん研究会有明病院 脳腫瘍外科

P2-3 AYA 世代脳腫瘍患者への看護師の困難感と課題実践

堤 悠華、楠本真由美、小塩 直美、梨子木博美
久留米大学病院 本館東8階病棟

P2-4 大分大学の脳腫瘍診療における共通意思決定の現状調査

松野真知子¹⁾、札幌 博貴²⁾、大野 志歩¹⁾、安部 杏里¹⁾、松井 美鈴¹⁾、竹田 千晴¹⁾、
武石 雅代¹⁾、藤木 稔²⁾

- ¹⁾ 大分大学医学部附属病院 看護部
- ²⁾ 大分大学医学部 脳神経外科学講座

ポスター発表③ 「QOL」

16:20 ~ 16:55

座長：副田 明男（公立学校共済組合 東海中央病院 脳神経外科）

P3-1 悪性神経膠腫患者および家族のQOL向上を目指す当院での取り組み

山西 俊介¹⁾、金 永珠¹⁾、蘆田 典明¹⁾、岸本亜矢子²⁾、長嶋 宏明³⁾、田中 一寛³⁾、
篠山 隆司³⁾、西原 賢在¹⁾

- ¹⁾ 神戸市立西神戸医療センター 脳神経外科
- ²⁾ 神戸市立西神戸医療センター 薬剤部
- ³⁾ 神戸大学医学部 脳神経外科

P3-2 短歌を詠むというレクリエーションに対するリハビリテーション介入

八田 健司^{1,2,3)}、池田 光代¹⁾、佐々木重嘉³⁾、齊藤 邦昭³⁾、小林 啓一³⁾、永根 基雄³⁾、
山田 深²⁾

¹⁾ 杏林大学医学部附属病院 リハビリテーション室

²⁾ 杏林大学医学部 リハビリテーション医学教室

³⁾ 杏林大学医学部 脳神経外科学

P3-3 脳腫瘍患者の認知機能転帰 ～幼少期の旅行歴と IDH の影響

堂本 千晶¹⁾、松井 三枝¹⁾、木下 雅史²⁾、中田 光俊²⁾

¹⁾ 金沢大学国際基幹教育院

²⁾ 金沢大学医薬保健研究域医学系 脳・脊髄機能制御学

P3-4 脳腫瘍患者に対するインフォームド・コンセントにおける医師と看護師の見解の対比

奥村 加那¹⁾、谷村 弥生^{1,2)}、坂本 陽子³⁾、徳増 一樹⁴⁾

¹⁾ 岡山大学病院 看護部

²⁾ 岡山大学病院 新医療研究開発センター / 臨床遺伝子診療科

³⁾ 岡山大学病院 新医療研究開発センター

⁴⁾ 岡山大学病院 総合内科・総合診療科

ポスター発表④ 「支持療法①」

16:20 ~ 16:55

座長：田畑 阿美（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻
先端リハビリテーション科学コース 先端作業療法学講座）

P4-1 80歳以上高齢膠芽腫患者の治療

中村 光流^{1,2)}、日宇 健¹⁾、馬場 史郎¹⁾、氏福 健太¹⁾、吉田 光一¹⁾、林 之茂²⁾、
松尾 孝之¹⁾

¹⁾ 長崎大学医歯薬学総合研究科 脳神経外科

²⁾ 長崎県島原病院 脳神経外科

P4-2 高用量メトトレキサート療法後のグルカルピダーゼ救済療法の有用性

竹石 雄介、山崎 文之、米澤 潮、大園 伊織

広島大学医学部 脳神経外科

P4-3 頭蓋放射線照射による悪心・嘔吐に対する支持療法としてのグラニセトロン投与の効果

山崎 文之、米澤 潮、田口 慧、大園 伊織、竹石 雄介、堀江 信貴

広島大学医学部 脳神経外科

P4-4 若年性悪性脳腫瘍患者の意思決定支援

田中 なお¹⁾、吉岡 里穂¹⁾、勅使川原明彦²⁾、鈴木 結唯³⁾、齋藤 史¹⁾、長谷川 譲²⁾、
村山 雄一⁴⁾

¹⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 看護部

²⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経外科

³⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 地域連携部

⁴⁾ 東京慈恵会医科大学附属病院 脳神経外科

P4-5 膠芽腫に対するNovoTTF-100A治療におけるアドヒアランス向上のための多職種連携と実践的工夫

黒住 和彦、小泉慎一郎、大石 知也、山崎 友裕
浜松医科大学 脳神経外科

ポスター発表⑤ 「支持療法②」

16:55 ~ 17:25

座長：西山 淳（トータルケアガーデン湘南海老名クリニック）

P5-1 重度失語症となった膠芽腫患者への言語聴覚士の取り組み

－本人の意思に寄り添いQOLを維持することができた症例－

八木橋史佳¹⁾、甲谷 滉康¹⁾、村岡 法彦¹⁾、呂 隆徳¹⁾、木下 学²⁾、大田 哲生^{1,3)}

¹⁾ 旭川医科大学病院 リハビリテーション部

²⁾ 旭川医科大学 脳神経外科学講座

³⁾ 旭川医科大学病院 リハビリテーション科

P5-2 膠芽腫に対する交流電場腫瘍療法 of 自己中止例の検討

滝戸 悠平¹⁾、大岡 史治¹⁾、出口 彰一^{1,2)}、本村 和也^{1,2)}、青木 恒介¹⁾、芝 良樹¹⁾、
前田 紗知¹⁾、伊藤 翔平¹⁾、那波 茂晃¹⁾、齋藤 竜太¹⁾

¹⁾ 名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科

²⁾ 静岡県立静岡がんセンター 脳神経外科

P5-3 東京科学大学における悪性神経膠腫患者に対するTumor Treating Fields治療患者に特化した患者サポート交流会の試み

原田 裕美¹⁾、清水 一秀²⁾、矢野 貴子¹⁾、遠藤 直美¹⁾、平野 貴士¹⁾、田村 郁²⁾、
前原 健寿²⁾

¹⁾ 東京科学大学 看護部

²⁾ 東京科学大学 脳神経外科

P5-4 交流電場脳腫瘍治療システムの装着が継続断念となった1事例

－インタビュー調査による課題の抽出と精神機能・健康関連QOLの経時的変化－

豊田 正成¹⁾、藤田 曜生¹⁾、合田 莉子¹⁾、阿野菜々美¹⁾、林 雄李¹⁾、田中 友章¹⁾、
藤岡 寛²⁾、吉本 幸司²⁾

¹⁾ 九州大学病院 リハビリテーション部

²⁾ 九州大学大学院医学研究院 脳神経外科

ポスター発表⑥ 「支持療法③」

16:55 ~ 17:25

座長：大野 誠（国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科）

P6-1 成人膠芽腫におけるADLと高次脳機能評価から見た腫瘍治療電場療法(Novo-TTF)継続障害要因の検討鈴木 恒平、長坂 昌平、佐藤甲一郎、宮岡 亮、齋藤 健、中野 良昭、山本 淳考
産業医科大学 脳神経外科**P6-2** 当院におけるnovoTTF-100A診療について若宮 富浩¹⁾、田部井勇助²⁾、小野田恵介¹⁾、松野 彰¹⁾
¹⁾ 国際医療福祉大学成田病院 脳神経外科
²⁾ 国際医療福祉大学 三田病院**P6-3** 外来通院中の膠芽腫患者における交流電場脳腫瘍治療システム装着前後の身体機能および受容性の変化:治療を早期断念した1症例の報告田中 友章¹⁾、草葉 隆一¹⁾、最所 雅¹⁾、林 雄李¹⁾、合田 莉子¹⁾、豊田 正成¹⁾、
藤岡 寛²⁾、吉本 幸司²⁾
¹⁾ 九州大学病院 リハビリテーション部
²⁾ 九州大学病院 脳神経外科**P6-4** 当院における腫瘍治療電場療法(TTF)の現状と課題並川 裕貴、伊藤 寛、王丸 翔馬、前山 元、桃崎 明彦、吉岡 史隆、緒方 敦之、
増岡 淳、阿部 竜也
佐賀大学医学部附属病院 脳神経外科

ポスター発表⑦ 「栄養・食事」

16:55 ~ 17:25

座長：木下 雅史（金沢大学 脳神経外科）

P7-1 悪性グリオーマの標準治療に病院食でケトン食療法を併用した1例山西 美沙¹⁾、黒田 美咲¹⁾、藤本 智景¹⁾、久保 歩美¹⁾、田淵 聡子¹⁾、原田 仁^{1,2)}、
高橋 路子^{1,3)}、萩原 圭祐⁴⁾、篠山 隆司⁵⁾
¹⁾ 神戸大学医学部附属病院 栄養管理部
²⁾ 神戸大学医学部附属病院 食道胃腸外科
³⁾ 神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科
⁴⁾ 大阪大学 微生物病研究所
⁵⁾ 神戸大学大学院医学研究科 脳神経外科学分野

P7-2 当院における悪性グリオーマ標準治療併用ケトン食療法の検証

黒田 美咲¹⁾、山西 美沙¹⁾、藤本 智景¹⁾、久保 歩美¹⁾、田渕 聡子¹⁾、
原田 仁^{1,2)}、高橋 路子^{1,3)}、萩原 圭佑⁴⁾、篠山 隆司⁵⁾

- ¹⁾ 神戸大学医学部附属病院 栄養管理部
- ²⁾ 神戸大学医学部附属病院 食道胃腸外科
- ³⁾ 神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科
- ⁴⁾ 大阪大学 微生物病研究所
- ⁵⁾ 神戸大学大学院医学研究科 脳神経外科学分野

P7-3 患者と家族のQOLを重視した悪性脳腫瘍患者の終末期における栄養・薬物投与方法の選択

辻 若子²⁾、副田 明男¹⁾、川口奈保美²⁾、渡邊 知伽³⁾、可児 朋香³⁾、玉村 笑子³⁾、
木戸地希世美³⁾、齊藤 裕樹⁴⁾、高見 沈輝⁵⁾、大野 香⁵⁾、高柳 麻衣⁶⁾

- ¹⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 脳神経外科
- ²⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 薬剤部
- ³⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 看護部
- ⁴⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 医療連携課
- ⁵⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 リハビリテーション科
- ⁶⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 栄養管理室

P7-4 脳腫瘍支持療法としての栄養サポート

足立 吉陽^{1,2,3)}、駿河 和城²⁾、為佐 信雄²⁾、伊達 勲²⁾

- ¹⁾ 岡山ろうさい病院 グリオーマサポートセンター
- ²⁾ 同 脳神経外科・脳卒中科
- ³⁾ 同 NST

ポスター発表⑧ 「リハビリテーション①」

16:55 ~ 17:25

座長：高橋 雅道（東海大学医学部 脳神経外科）

P8-1 回復期リハビリテーション病院でのFIM評価と生活レベル(介護保険介護度)関連表 (GROS)の有用性－評価の明確化、リハビリ実施計画立案、保険診療上の利便性－

山田 美穂¹⁾、山崎 翔稀¹⁾、中清水 睦¹⁾、川野 将広¹⁾、川上 智子²⁾、松谷 雅生³⁾

- ¹⁾ 原宿リハビリテーション病院 医療技術部 リハビリテーション科
- ²⁾ 原宿リハビリテーション病院 看護部
- ³⁾ 原宿リハビリテーション病院 診療部 リハビリテーション科

P8-2 開頭脳腫瘍摘出後に重度運動麻痺を呈したが、機能的予後予測が奏功し、歩行自立に至った40代膠芽腫の一例

林 雄李¹⁾、草葉 隆一¹⁾、最所 雅¹⁾、田中 友章¹⁾、合田 利子¹⁾、阿野菜々美¹⁾、
豊田 正成¹⁾、藤野英次郎¹⁾、藤岡 寛²⁾、吉本 幸司²⁾

- ¹⁾ 九州大学病院 リハビリテーション部
- ²⁾ 九州大学大学院医学研究院 脳神経外科

P8-3 言語性記憶機能の低下により開頭腫瘍摘出術後のADL拡大に難渋した右片麻痺の一症例
阿野菜々美¹⁾、川口美奈子¹⁾、林 雄李¹⁾、藤田 曜生¹⁾、豊田 正成¹⁾、藤岡 寛²⁾、
吉本 幸司²⁾

¹⁾ 九州大学病院 リハビリテーション部

²⁾ 九州大学大学院医学研究院 脳神経外科

P8-4 当院における神経膠腫患者の意思決定について－高次脳機能障害に注目して
渡邊 淳子^{1,2)}、榎本 年孝²⁾、森下 登史²⁾、河野 大²⁾、安部 洋²⁾

¹⁾ 福岡大学病院

²⁾ 福岡大学医学部 脳神経外科

ポスター発表⑨ 「リハビリテーション②」

17:25～18:00

座長：田中 俊英（東京慈恵会医科大学 脳神経外科）

P9-1 地方都市における髄膜腫患者に対する回復期リハビリテーションの効果

高尾 祐輝¹⁾、多田 建智¹⁾、松谷 雅生²⁾

¹⁾ 一般社団法人巨樹の会 下関リハビリテーション病院

²⁾ 医療法人社団巨樹の会 原宿リハビリテーション病院

P9-2 左頭頂葉膠芽腫と腫瘍内出血を発症後、重度感覚障害を呈した症例に感覚賦活に着目し介入することでKPS向上がみられた一症例

合田 莉子¹⁾、林 雄李¹⁾、草葉 隆一¹⁾、最所 雅¹⁾、田中 友章¹⁾、阿野菜々美¹⁾、
豊田 正成¹⁾、藤野英次郎¹⁾、藤岡 寛²⁾、吉本 幸司²⁾

¹⁾ 九州大学病院 リハビリテーション部

²⁾ 九州大学大学院医学研究院 脳神経外科

P9-3 高齢膠芽腫患者の自宅退院に及ぼす要因の検討

村岡 法彦¹⁾、甲谷 滉康¹⁾、呂 隆徳¹⁾、木下 学²⁾、大田 哲生^{1,3)}

¹⁾ 旭川医科大学病院 リハビリテーション部

²⁾ 旭川医科大学 脳神経外科学講座

³⁾ 旭川医科大学病院 リハビリテーション科

P9-4 髄芽腫術後に嚥下障害を呈した小児に対する経口摂取再獲得を多職種連携にて目指した一例

山口 春菜¹⁾、音琴 哲也²⁾、大園 秀一³⁾、明井 孝弘³⁾、茂藤 優司³⁾、松瀬 博夫^{1,4)}

¹⁾ 久留米大学病院 リハビリテーション部

²⁾ 久留米大学医学部 脳神経外科学講座

³⁾ 久留米大学医学部 小児科学講座

⁴⁾ 久留米大学医学部 整形外科科学講座

ポスター発表⑩ 「社会的・経済支援や就労支援」

17:25 ~ 18:00

座長：三宅 啓介（香川大学医学部 脳神経外科）

P10-1 脳腫瘍患者の自宅退院に関連する因子の検討:文献レビュー

三浦 武^{1,2)}、叶谷 由佳¹⁾

¹⁾ 横浜市立大学 医学部看護学科 老年看護学

²⁾ 横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻

P10-2 脳腫瘍患者に対して回復期リハビリテーション病棟入院中から訪問リハビリテーションへシームレスな連携を行うことで早期に復職可能となった一例

黒木麻菜美¹⁾、中村 泰等¹⁾、松本 彩¹⁾、花田 宗久¹⁾、松尾 義孝²⁾

¹⁾ 香椎丘リハビリテーション病院 医療技術部 リハビリテーション科

²⁾ 香椎丘リハビリテーション病院 診療部

P10-3 悪性脳腫瘍患者に対する社会保障制度の実際と問題点

齊藤 裕樹¹⁾、川口奈保美²⁾、辻 若子²⁾、渡邊 知伽³⁾、可児 朋香³⁾、玉村 笑子³⁾、
木戸地希世美³⁾、高見 洸⁴⁾、大野 香⁴⁾、高柳 麻衣⁵⁾、副田 明男⁶⁾

¹⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 医療連携課

²⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 薬剤部

³⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 看護部

⁴⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 リハビリテーション科

⁵⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 栄養管理室

⁶⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 脳神経外科

P10-4 AYA世代の悪性脳腫瘍患者支援制度の必要性

田部井勇助、内藤 智順、石川 久、須磨 健、大山 健一

国際医療福祉大学三田病院 脳神経外科

P10-5 失語症を呈した若年膠芽腫サバイバーに対する社会復帰支援
～意思疎通支援者派遣事業の継続支援の可能性について～

土屋 繁治¹⁾、神田 亨¹⁾、真田 恵子¹⁾、水野 大輔¹⁾、岩瀬 優花¹⁾、田尻 寿子¹⁾、
金田 英理²⁾、木部 祐士³⁾、伏屋 洋志⁴⁾

¹⁾ 静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション室

²⁾ 医療法人社団心 坂の上ファミリークリニック

³⁾ 静岡県立静岡がんセンター 脳神経外科

⁴⁾ 静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション科

ポスター発表⑪ 「症状と対策」

17:25 ~ 18:00

座長：大岡 史治（名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科）

P11-1 AYA世代への悪性脳腫瘍告知後に院内コードホワイトへ至った症例
～病名告知による精神的負担と抗癌薬の影響を絡めた考察～勅使川原明彦¹⁾、鈴木 結惟²⁾、田中 なお³⁾、吉岡 里穂³⁾、長谷川 譲¹⁾、村山 雄一⁴⁾¹⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経外科²⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 地域連携部³⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 看護部⁴⁾ 東京慈恵会医科大学附属病院 脳神経外科**P11-2** 悪性神経膠腫患者の精神症状とその対応

樋口 直司、阿部 信祐、青木 大征、村井 保夫

日本医科大学 脳神経外科

P11-3 若年神経膠腫患者と妊孕性温存：卵巣過剰刺激症候群に対する治療経験柏木 秀基、香月 里奈、野々口直助、矢木 亮吉、平松 亮、亀田 雅博、古瀬 元雅、
川端 信司、高見 俊宏、鰐淵 昌彦

大阪医科大学 医学部 脳神経外科

P11-4 高度急性期医療と地域医療の連携による包括的悪性脳腫瘍治療
—実際の症例を踏まえて—米持 拓也¹⁾、野末 恭子¹⁾、菊池 美佑¹⁾、篠原 千昌¹⁾、西山 淳^{1,2,3)}、高橋 雅道¹⁾¹⁾ 東海大学医学部 脳神経外科²⁾ 医療法人社団NALU トータルケアガーデン湘南海老名クリニック³⁾ 医療法人社団杏月会 伊勢原駅前クリニック**P11-5** 脳腫瘍患者の主観的認知機能障害と神経心理学的機能評価との関連松井 三枝¹⁾、木下 雅史²⁾、堂本 千晶¹⁾、中田 光俊²⁾¹⁾ 金沢大学国際基幹教育院 臨床認知科学²⁾ 金沢大学医薬保健研究域医学系 脳神経外科学

ポスター発表⑫ 「緩和ケア」

17:25 ~ 18:00

座長：清水 一秀（東京科学大学 脳神経外科）

P12-1 最期の抱擁 ～終末期がん母とNICU児の面会を叶える医療連携～清松 美紀¹⁾、金子 真琴¹⁾、柳 典宏¹⁾、片淵 愛子¹⁾、荒巻久美子¹⁾、今泉 潤紀²⁾、
北村 葉月²⁾、古川 怜奈²⁾、吉岡 史隆³⁾¹⁾ 佐賀大学医学部附属病院 看護部²⁾ 佐賀大学医学部附属病院 先進総合機能回復センター³⁾ 佐賀大学医学部附属病院 脳神経外科

P12-2 悪性神経膠腫終末期の療養の場の経時的変化とその要因

武内 勇人、阪本 真人、大和田 敬、村上 陳訓

京都第二赤十字病院 脳神経外科

P12-3 当院のGlioma患者の看取り場所～今までの傾向と今後の在宅診療連携強化について～

勅使川原明彦¹⁾、赤崎 安晴²⁾、高橋潤一郎^{3,4)}、東本 杏一⁵⁾、森 良介⁶⁾、関根 智美⁷⁾、
浅田 美香⁷⁾、田中 俊英²⁾、長谷川 譲¹⁾、村山 雄一²⁾

¹⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経外科

²⁾ 東京慈恵会医科大学附属病院 脳神経外科

³⁾ ジェイ内科・脳神経内科クリニック

⁴⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経内科非常勤医師

⁵⁾ 亀田総合病院 脳神経外科

⁶⁾ 東京慈恵会医科大学附属葛飾医療センター 脳神経外科

⁷⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 看護部

P12-4 複雑な家族背景をもつAYA世代患者への多職種連携による退院支援の一例

鮎澤 奈美¹⁾、緒方 文子¹⁾、須藤奈津子²⁾、結城 士^{2,3)}、高野めぐみ⁴⁾、佐藤 秀光⁵⁾

¹⁾ 神奈川県立がんセンター 患者支援部

²⁾ 神奈川県立がんセンター リハビリテーション技術科

³⁾ 静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション室

⁴⁾ 在宅療養支援ステーション 楓の風横浜あさひ

⁵⁾ 神奈川県立がんセンター 脳神経外科

P12-5 回復期リハビリテーション病院の退院支援におけるGROS(Gotlanda Rehabilitation Outcome Stage)評価表の活用と居宅介護支援事業所スタッフへの理解度調査

鈴木 孝宗¹⁾、秋本 泰子¹⁾、神山 知美¹⁾、菊地 亜美¹⁾、松谷 雅生²⁾

¹⁾ 原宿リハビリテーション病院 退院支援室

²⁾ 原宿リハビリテーション病院 診療部 リハビリテーション科

次期会長挨拶

18:00～

山田 深 (第4回脳腫瘍支持療法研究学術集会 会長/
杏林大学医学部 リハビリテーション医学教室 教授)

表彰式・閉会式

18:00～

阿部 竜也 (第3回脳腫瘍支持療法研究学術集会 会長/
佐賀大学医学部 脳神経外科 教授)